

『2012年度受験用中学入試問題集 国語編』訂正

●問題 1174 ページ「東京女学館中学校」

☐

(誤) 音和はようやく、⑧自分の考えるほど父は～

(正) 音和はようやく、⑧自分が考えるほど父は～

(誤)「……もし弟か妹がいて、彼か彼女はお母さんと暮らしたいと云ったら、おもえも向こうへいったんだらうな。」

(正)「……もし弟か妹がいて、彼か彼女はお母さんと暮らしたいと云ったら、おまえも向こうへいったんだらうな。」

●解答 5 ページ「穎明館中学校」

☐ 問九

(誤) 人間と科学技術の関係が楽しく、広がりのあるものになるために、自分たちの選択で手足が思うとおり動くことが必要だから。

(正) 機械の機能化が進むのは、すべて明るい未来につながるとは言えず、望まない結果が生まれることも考えられるから。

●解答10ページ「湘南学園中学校(B日程)」

☐ 問二 II (誤) ア → (正) イ

●解答 17 ページ「明治学院中学校」

☐ 問六 (誤) エ → (正) ウ

☐ 問十一 (誤) ア → (正) イ

☐ 問一 (誤) イ → (正) エ

☐ 問四 (誤) エ → (正) イ

☐ 問九 (誤)エ → (正)ウ

●解答 17 ページ「明治大学附属中野八王子中学校」

☐ 問一 (誤)命[生命]・維持してきた生活 → (正)命[生命]・生活

☐ 問六 (誤)イ → (正)エ

●解答 21 ページ「学習院中等科」

☐ 問六

(誤)陽平のいる左サイドにボールが渡ったことで試合の展開に引き込まれ、陽平の目線に立って試合を観戦し始めたこと。

(正)陽平のいる左サイドにボールが渡ったことで試合の展開に引き込まれ、陽平の目線で試合を観戦し始めたこと。

●解答21ページ「鎌倉学園中学校」

☐ 問五 (誤)全身を → (正)一匹の

☐ 問十 (誤)ウ → (正)イ

☐ 問十二 (誤)ア・ウ → (正)ウ・エ

☐ 問一 D (誤)イ → (正)ウ

☐ 問二 (誤)ア → (正)エ

☐ 問五 (誤)c→b→a→d → (正)c→b→d→a

☐ 問六 (誤)ウ → (正)ア

☐ 問八 (誤)ア → (正)イ

☐ 問十一 (誤)エ → (正)イ

四 問十二 (誤)ア → (正)イ

●解答 24 ページ「逗子開成中学校」

四 問三 ③ (誤)オ三 カ四 → (正)オ令 カ改

●解答 26 ページ「東京都市大学付属中学校」

四 問6 (誤)エ → (正)ウ

●解答36ページ「品川女子学院中等部」

四 問5

(誤)工業化が進んで、子どもが学校へ、親は会社へ行き、親子の行き先が別々になったことと、電子レンジやコンビニが登場し、「個食」が可能になったことに加えて、情報化が進んで、ケータイの普及で家族が居間で団欒することが少なくなったり、テレビとネットの普及で情報の独占がくずれ、権力構造がこわれたりしたことで、家族の一人ひとりがばらばらになる一方であること。

(正)「職」と「食」とが家族から分離された結果、「家族はひとつ」を実感する機会が減ってしまい、さらに、情報化の発達により家族団欒の時間が減り、父権もくずれてきたという状況。

四 問8

(誤)・異なる要素がかけ合わさることで生じる試行錯誤をくり返し、成長できる点。・異なる文化的背景と考え方を持った他者と関係を作る技術が高められる点。

(正)・ひとりでは経験できない試行錯誤をくり返し、人間として成長できる点。・異なる考え方を持った他人と関係を切り結ぶ技術を得ることができる点。

四 問4 (1)(誤)勝つまで闘い続けること。 → (正)勝つまでやめないこと。

四 問4 (2)

(誤)不幸を引きずらず、目の前に立ち塞がるものから逃げずに前進し続け、たとえ失敗しても自分の不幸や周りの環境のせいにならないようにするという心構え。

(正)不幸を引き摺らずに自力で前を向き、自分の不幸や周りの環境を失敗の言い訳にせず、常に前進し、目の前に立ち塞がるものを恐れて逃げ出さない心構え。

四 問5 (誤)イ → (正)ア

☐ 問8

(誤)お爺ちゃんの温かい言葉に涙ぐんでいるルシアを気づかうとともに、自分が涙ぐむのをルシアに見られるのが恥ずかしかったから。

(正)ルシアは、今誰にも顔を見られたくないと思っているはずだし、自分自身も涙ぐんでいる顔を見られるのが恥ずかしいと思ったから。

●解答46ページ「普連土学園中学校」

☐ 問四

(誤)①Aのじぶんが他人に関心をもたれて力をもらうところと、Bのじぶんが他人に関心をもつことで力をもらうこと。

(正)①Aのじぶんが他人に関心をもたれて力をもらうところと、Bのじぶんが他人に関心をもつことで力をもらうところ。

☐ 問一

(誤)船を釣りとは無関係なことに使われ、そうであることに抵抗を感じたから。

(正)自慢の船を釣りとは無関係なことに使われることに抵抗を感じたから。

☐ 問七

(誤)自分は島民としての視点からだけ観光客を見、批判していたが、灯子は観光客の日常生活のことまで考えて物を言っていることに感心したから。

(正)自分は島民としての視点からだけ観光客を見て批判していたが、灯子は観光客の日常生活のことまで考えて物を言っていることに感心するとともに、自分の視野のせまさを思い知らされたから。

●解答49ページ「立教女学院中学校」

☐ 問四 (誤)イ → (正)エ

●解答49・50ページ「灘中学校」

〔一日目〕 ☐

問一 (誤)あまり大切にないもの。 → (正)いちばん大事には考えていないということ。

問三 (誤)選手に、試合をほとんど丸ごと語らせようとする事。

(正)選手に的確な質問をせず、丸ごと語らせようとする事。

〔二日目〕 ㊦

問四 Y (誤)自分の期待どおりの位置にうまくボールがはねかえってくる

(正)石垣に当てて跳ね返ったボールをノーバウンドで受ける

問五 (誤)他方, 古い → (正) そのいびつ

問六 (誤)投げたボールがトカゲのいた亀裂の方にあたり, 思いがけない方向にはずむこと。

(正)トカゲが姿を消した石垣の亀裂部分にボールが当たって, とんでもなく大きく跳ね上がったということ。

〔二日目〕 ㊦

問一 (誤)ダム湖でカヤックを漕いでいて, 元の岸边にもどれなくて困っている状況。

(正)強風のためにカヤックがうまくあやつれない状況。

問二 (誤)流れの左右, どちら側に寄っても橋脚に叩きつけられるおそれがあるので, 慎重にまっすぐ進まなければならないから。

(正)安全に帰れる真っ直ぐな水の流れが細くて, 通過するには細心の注意が必要だから。

問三 (誤)本当に独りだと思って気合が入った矢先に, ダム湖というありえない場所にカワセミを発見したから。

(正)小さなカワセミでさえ, 独りで強風の中を飛んでいくのだから, 自分も何とかかなりそうだと思ったから。

問四 (誤)風に流されず, 自分の力で岸边に近づく(ことができればよい。)

(正)カヤックを自分の思いどおりにあやつる(ことができればよい。)

問五 (誤)小さく芽吹いたチューリップ → (正)芽吹いたばかりのチューリップ

問七 (誤)自分が埋め込んだ球根の花が咲いているかどうか確認し(ながら歩くこと。)

(正)自分が埋めた球根が花を咲かせたことを一つ一つ確かめては, 喜びを感じ(ながら歩くこと。)

- 問八 (誤)誰かが、この岸辺にやってきたのだということ。
(正)最近誰かがチューリップの球根を植えたにちがいない。

〔二日目〕 目

- 問一 (誤)家族の各々が新聞を読んでいくうちに、新聞が少しずれたりおれたりしてきたこと。
(正)新聞が家族のみんなに読まれて、紙にしわがよったり折れ曲がったりしているということ。
- 問二 (誤)「新聞」は、情報としての価値があるもので、「新聞紙」はそれがなくなりただの紙になったもの。
(正)「新聞」は、内容を読むためのものだが、「新聞紙」は読みおわって積まれているだけのものである。
- 問五 (誤)竹の葉が風にふかれてゆられながら音をだしていること。
(正)竹が風にそよいで音を立てているということ。
- 問六 (誤)すずしさ → (正)すずしい風
- 問七 (誤)姿を変えて生きつづけているもの → (正)姿を変えて生きつづけているもの

以上